



第 28 回
ユーザーの意見を聴く懇談会

— まとめ —

一般社団法人

長野県自動車販売店協会

目 次

I	まえがき	1 ページ
II	開催概要	2 ページ
III	懇談会テーマ	3 ページ
IV	主催者あいさつ	3 ページ
V	意見交換	4 ページ
VI	ユーザーアンケート	19 ページ
VII	付則資料	24 ページ

I まえがき

長野県自動車販売店協会は、昭和31年3月、県内で国産車を販売する15社のディーラーが集まり、経営やサービスの改善を図ることを目的に設立しましたが、当時の県下自動車保有台数は、僅か2万2千余台でありました。現在では、自動車メーカー12系列のディーラー28社が加盟し、約400の店舗と約6千名の従業員により、登録車と軽自動車の販売・車両整備をさせていただいております。

車社会の進展に伴い、環境保全・交通事故防止対策が深刻な社会問題となり国民の関心が高まる中、これらの課題に積極的に取り組みながら、少しでも地域社会に貢献したいとの願いを込め、平成3年6月、長野県知事認可による「社団法人長野県自動車店協会」を設立。平成23年4月に「一般社団法人長野県自動車販売店協会」へと移行し、自動車の販売事業と併行し、“地球環境の保全”と“交通安全活動”を二本柱に据え、公益事業活動を積極的に展開しております。

さて、「ユーザーの意見を聴く懇談会」は、交通安全・環境保全問題並びに行政機関・自動車販売業界に対する要望・意見を直接自動車ユーザーの皆様から聴かせていただく懇談会として平成4年から実施しており、今回で28回目を数えることになりました。今回は、「若者の車離れ」と言われる中、信州大学・長野県立大学・清泉女学院大学の皆さんにご参加いただき、車に対する関心、交通安全支援機能やエコカーに関する考えなどについて意見をいただく機会として開催いたしました。

今回、皆様方からいただきましたご意見・ご要望を冊子に編集いたしましたので、会員や自動車メーカー、行政機関等に広く周知して、より良い車社会の実現を図るため活用させていただきます。

終わりに、ご参加いただきました皆様と懇談会にご協力いただきました皆様に対し、心から感謝と御礼を申し上げます。

Ⅱ 開催概要

- 1 日 時 令和5年11月1日(水)
懇談会 15:30～17:00
夕食会 17:15～18:30
- 2 会 場 ホテルメトロポリタン長野 3階「浅間」
長野市南石堂町1346
- 3 出席者 42名(詳細は付則資料に掲載)
 - (1) ユーザー代表
信州大学・大学院生 7名
長野県立大学 5名
清泉女学院大学 8名
 - (2) オブザーバー 1名
 - (3) 協会役員 12名
 - (4) 協会会員 1名
 - (5) 司会進行 1名 SBC 信越放送アナウンサー 中澤 佳子 様
 - (6) 記者 1名 ㈱日刊自動車新聞社 秋山 淳 様
 - (7) 協会職員 6名



Ⅲ 懇談会テーマ

- 将来、自分で自由に使える車を所有したいか。
- 車を持つとすれば、どのような点に関心を持って選ぶか。
(環境に配慮した自動車、安全運転支援機能など)
- 魅力あるディーラーとは、どのようなディーラーか。

Ⅳ 主催者あいさつ

ただいまご紹介に預かりました、長野県自動車販売店協会理事長の宇都宮でございます。

本日は、お忙しい中、信州大学中山准教授と信州大学の皆様、長野県立大学の皆様、清泉女学院大学の皆様にご出席いただき誠にありがとうございます。

また、SBC信越放送の中澤佳子アナウンサーには、これまで同様よろしくお願いいたします。

長野県自動車販売店協会は、県下メーカー系列の自動車ディーラー28社で構成され、交通安全や環境問題などの公益事業を主体とし、より安全で快適な車社会を目指し活動しております。

本日の懇談会は、県内の大学に通う皆様から、自動車に係わる様々な意見や要望をお聞きし今後活かそうとするもので、本年度28回目を数えることとなりました。

さて、自動車業界は、「社会の移動手段を提供する」という重要な役割を担っております。その中で当協会は、安全サポート車の普及による交通事故の減少を目指し、サポカー体験会の開催に協力しているほか、ディーラー各社にて電気自動車等を活用し、災害発生時に避難所等に電気を供給するなど、県内各自治体との連携協定締結を推進しているところです。

本日は、皆様から自動車に係わる様々なご意見をいただき、今後のモビリティ社会について考えていきたいと思っております。短い時間ではございますが、この会が皆様にとりまして有意義な時間となりますよう、私の挨拶とさせていただきます。

と、文章をお読みしましたが、実は、「ChatGPTで作成した挨拶」なのです。というのはジョークですが、このように、私たちを取り巻く社会環境は大きく変化し、自動車業界もMaaSやデマンド型交通の実用化等、自動車そのものの価値観が変化をしている只中であります。その中で、いわゆるZ世代の皆様にお聞きしたいのは、今後どのように車を使用したいのか、どういう車なら所有したいのか、シェアリングによって車を使用するのが良いのか、デマンド型交通を利用して移動する方が良いのか。更に自動車の購入方法も、サブスクリプションをはじめ、近い将来、自動車業界もお手元のスマートフォンで全てが完結するサービスが登場することが予想される中、どのような購入方法があるのか等、我々が単なる自動車ディーラーからモビリティカンパニーとして変化していくために、皆様から忌憚のないご意見をいただきたいと思っております。



V 意見交換

《 表示上の説明 》

- 信州大学工学部・大学院を「信州大学」、清泉女学院大学を「清泉大学」、長野県立大学を「県立大学」とし、個人名はアルファベットによる表記とする。
- 信州大学（7名）は、A君～G君で表わす。
- 長野県立大学（5名）は、H君～L君で表わす。
- 清泉女学院大学（8名）は、女性：Mさん～Tさんで表わす。
- 司 会：緑字
男子学生：青字（中山准教授を含む）
女子学生：赤字
協会役員：黒字 で表わす。

発言者	発 言 内 容
司会	<p>それでは、さっそく意見交換に入りたいと思います。</p> <p>本日は、自動車に関するテーマで自由に討論していただきますが、事前に皆さんに簡単なアンケート（注1）を実施させていただきましたので、それに基づき意見を伺っていきます。</p>

注1：アンケート結果は P19 以降に掲載しています。



車が好きですか。

司会	<p>まず、「あなたは車が好きですか」という質問に対して、ほとんどの方が「好き・どちらかと言えば好き」とお答えいただいているのですが、「嫌い・どちらかと言えば嫌い」とお答えになったMさん。</p> <p>車は嫌いですか。</p>
清泉大学Mさん	<p>「好きか嫌いか」と言われたら、どちらかと言えばちょっと「苦手」という感じです。</p>
司会	<p>それはなぜですか。</p>
清泉大学Mさん	<p>私自身、自分で運転することが多くないのと、運転免許を取る段階で、運転するということは人の命にも関わってくると思い、そういうところで少し怖いという感情があって、どちらかと言えば「苦手」です。</p>
司会	<p>では、移動手段とすると、車よりも他のものという感じですか。</p>
清泉大学Mさん	<p>そうですね。自分の運転というよりは、徒歩の方が良いかなと考えています。</p>
司会	<p>では、人の命にも関わってくるという話でしたが、危なくない車であればどうですか。</p>
清泉大学Mさん	<p>その車がどのくらい危なくないのかということが分かるのであれば、「乗っても大丈夫かな」という感じにはなりますが、どのくらいの保証があるのか、数字とかでも分かるとは思いますが、気持ち的には</p>

	「少し怖いかな」という不信感があります。
司会	わかりました。ありがとうございます。 もう一人、「その他」で意見をいただいているNさん、お話を聞かせていただいても良いでしょうか。 車に対してどんなイメージなんでしょう。
清泉大学Nさん	私は普段、車に乗ったり運転することがあまりないので興味が無い です。他のことに興味がいつてしまいます。
司会	例えばどんなことに興味がいきますか。
清泉大学Nさん	私はファッションが好きなので、そちらに重点を置いてしまいます。
司会	同じお金を使えるとしても、車よりもファッションの方にと いう感じでしょうか。 今、ファッションの勉強をしているのですか。
清泉大学Nさん	勉強というか、SNS でヨーロッパのほうの服装を色々見て、自分 なりにこういう使い方があるんだというのを学んでいます。
司会	情報というと、SNS、スマホからの情報が多いですか。
清泉大学Nさん	そうですね。大体スマホからです。
司会	わかりました。ありがとうございます。 では一方で、「車が好き」という方が90%だったのですが、車がない なんて考えられないという方、手を挙げていただいても良いですか。 では、Aさんお願いします。
信州大学A君	今、大学で機械系の学科に所属していて、父親も車が大好きな人で、 幼い頃から父親と一緒に車をいじったりして成長してきたので、そこ から自動車に興味を持つようになり、色々な機械にも興味を持ったの で機械系の大学に進みました。 今は自分の車を所有しており、運転することも大好きで、運転の楽し みを味わいたかったので、マニュアルの自動車を購入して運転を楽し んでいます。
司会	車を運転する一番の魅力はどんなところですか。
信州大学A君	私は電車とか、時間を合わせて移動するのがすごく苦手で、自動車 で自分の空間を確保しながら、好きな時間に動けるのが大好きなので、 学部生の頃もよく車中泊をしながら、一週間くらい東北を回ったり、 どちらかというとも車は目的地に行くための手段ではなく、その目的地 への道中や運転も私の中では車に乗る目的なので、高速道路で行ける ような場所でもあえて峠道を通って、山を抜けて、運転自体を楽しみ ながら旅をすることにとっても魅力を感じます。
司会	車自体が好きだということですが、「車がこんなふうになるともっ と良いのにな」ということはありますか。
信州大学A君	私の好きな車たちは、たぶん今の時代の流れと真逆のような、エン ジン車で、ガソリン車で、マニュアルで、自動ブレーキ等のない、運転手 が操作することで動くような車が好きなので、今の時代の流れとは 逆のものを求めているのかなと思います。

司会	でも、ある一定数は、そういう方もいると感じますか。
信州大学A君	そうですね。特に大学では10人くらいの仲間とよく遊んでいたのですが、全員運転が好きで、自分の車を持っていて、マニュアル車で、どこかに出掛けるときも相乗りはせずに各々運転して連なって走ったりとか、そういう運転が好きな仲間は周りにいました。
司会	ありがとうございます。 では、次は女性にお話しをお伺いしたいと思います。Oさん。
清泉大学Oさん	長野で生まれ育って、車は移動手段には欠かせないといえますか、「クオリティオブライフ」なんて言葉もありますが、過ごしやすい生活のためには車は必要だと思っていて、実体験として、大学1年生の時は、電車で通学していたのですが、学校の立地のこともあって、電車の本数が本当に少なく、1時間以上待たないといけないなんてこともあります。車通学を始めてからはそんなこともないですし、ちょっとした空き時間も好きな所に好きなタイミングで行けるというのが、車の魅力かなと思います。
司会	今、車はご自身で所有されているものですか。
清泉大学Oさん	家族で1台を共有しながら乗っています。
司会	いずれは、自分の車が欲しいですか。
清泉大学Oさん	そうですね。「こういう車乗りたいな」という理想はすごくあって、実際にこの車種のこの色で、という希望はあるのですが、今は学業が本分ですし、金銭面のこともあるので、社会人になったら自分で買おうと考えています。
司会	自分で買うとしたらどんな車が理想ですか。
清泉大学Oさん	ファミリーカーというよりかは、コンパクトでも車内が広くて過ごしやすいタイプが良いです。デザイン的には、「かわいい車」よりは「かっこいい車」が好きなので、そういう車で小回りが利く、乗りやすい車が出たらいいなと思っています。
司会	ありがとうございます。 次にPさん、お願いします。
清泉大学Pさん	私は遠出するのがすごく好きで、この前も静岡の方まで行ってきましたが、車は電車や新幹線では行きづらいところも行けたりだとか、車だからこそ楽しめる風景があるので車が好きです。
司会	特にこんな車が好きとか、こんな車だったらいいなというのはありますか。
清泉大学Pさん	乗り心地が良くて、かっこいい車が好きなので、いつかSUV系の車に乗れたらいいなと思っています。
司会	先ほどのOさんも「かわいい車」より「かっこいい車」が良いとおっしゃっていましたが、それはなぜでしょうか。
清泉大学Pさん	たぶん、今この時代になってきて、女性は可愛らしい、男性はかっこいいというのが混ざってきている、そういう選択ができるようになった。

	逆に言えば、男性でも「かわいい車」を選びたいという人もいるだろうし、そういう多様性というのが出てきたからではないかと思います。
司会	だとすると、例えば広告とかで、「女性におすすめ」とか、「女性向けのコンパクトな」なんて言われると、ちょっと反発したくなったりしますか。
清泉大学Pさん	そうですね。私は、「女性らしいとか男性らしいってなんだろう」と思うことがあるので、女性向けとか言われても「別に…」と思ってしまう時があります。
司会	ありがとうございます。 では質問を変えていきたいと思いますが、今、車を所有しているという方が半分くらいいました。 その中で、「今の車に不満がある」というBさん。どんなところが不満で、もっとこうだったら良いのにとという意見はありますか。



車を所有していますか。
また、所有している車について教えてください。

信州大学B君	今、自分は、軽ハイトワゴンと呼ばれるような軽自動車に乗っていて、走行性能と快適性は申し分ないのですが、自分の趣味としては少し昔の、80年代から90年代あたりのスポーツカーが好きなので、そういう車に将来乗りたいと考えている中で、自分が今乗っている車は理想の車ではないかなと思います。
司会	今、だんだん新しくなっていて、更に便利にという感じですけども、そうではないものを求めたいということでしょうか。
信州大学B君	そうですね。やはりマニュアルでガソリン臭い車が好きなので、特殊ではありますが、そういった車をもっと正規ディーラーやメーカー直結のディーラーから手に入れられるのであれば安心して古い車でも乗ることができますし、そういう売り方が広まってくると良いなと思っています。
司会	でもなんとなく、時代の流れとしては、電気自動車だったり水素自動車だったり、ヨーロッパなんかは「2035年までに電気自動車へ」という話になっていますが、全てがそうなってしまったら困ってしまいますよね。
信州大学B君	そうですね。仕方ない流れではあると思いますが、日本の車は100年以上内燃機関でやってきている中で、そのノウハウをここで殺してしまうのは勿体ないと感じているので、例えばトヨタさんなんかは、ガソリンをそのまま水素に置き換えて、水素エンジンの研究を進めていますし、そういった車がどんどん実用化に向けて動いていくと自分みたいな考えを持つ人たちは喜ぶのではないかなと思います。
司会	ありがとうございます。 もう一人、Qさん。今の車に満足できていないということですが、

	<p>どんなところが満足できていないのでしょうか。</p>
<p>清泉大学Qさん</p>	<p>私は今、母が乗っている車にたまに乗るのですが、バックモニターがなかったり、Bluetooth 機能がなかったり、音楽がすごく好きなので車を運転している時に音楽を聴きながら乗りたいのですが、その機能がないので自分の携帯でかけて乗っていて、来年から社会人になるので、車を選ぶ時にそういう機能があるかを重視して選びたいと考えています。</p>
<p>司会</p>	<p>他に例えば、今ない機能だとしても、こんな機能があったら良いなどいうのはありますか。</p>
<p>清泉大学Qさん</p>	<p>例えば信号に止まっていて、青になっても動き出さないと「ピピッ」と音が鳴ったりする車も出てきていますが、鳴らない車もある中で、そういう少しのことが事故に繋がる可能性もあるので、車が動き出す時に知らせてくれるような、そういう機能が普及すれば良いと考えています。</p>
<p>司会</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>今回、皆さんに実施いただいたアンケートを事前に読ませていただきましたが、本当に二極化と言いますが、「便利になってほしい派」と「そこまで便利じゃなくても良い派」の2つに分かれている印象なのですが、自動ブレーキとか自動運転とか、こういった車がどんどん出てきてほしいと思っている方から意見をお聞きしたいと思います。</p> <p>ではCさん、お願いします。</p>
<p>信州大学C君</p>	<p>今、自分が所有している車は、安全サポートなどの機能をオプションで付けて、例えば右左折する際に、後ろからライトや人が来た時に右直事故等が起きないようにセンサーが付いていたり、バックモニターの機能も付いているのですが、そういった部分でかなり助けられたこともあって、何度も事故を未然に防ぐことができましたし、高速道路を走る時はオートクルーズなどを使って、非常に快適に運転ができていますし、そういった部分がとても便利だと思っています。</p> <p>自分で運転することももちろん楽しいのですが、任せられるところは任せて、少しでも自分の運転が楽になれば、車での長距離移動などの交通手段の選択肢も増えるので、そういった車にどんどん乗っていきたいなと思っています。</p>
<p>司会</p>	<p>Cさんは広島ご出身とお聞きしましたが、きっと車で帰ることもありますよね。</p> <p>やはり長距離の時は、ある程度そういうサポートがないと大変ですか。</p>
<p>信州大学C君</p>	<p>そうですね。途中で疲れてしまって、諦めようかなと考えたこともありますが、ずっと神経をとがらせて運転するよりは、もちろん安全に気を付けながらではありますが、オートクルーズなどのサポート機能を使うことでそういうことも少なくなるのではないかと。</p>
<p>司会</p>	<p>更に欲しい機能はありますか。</p>

信州大学C君	これはどちらの意見もあると思うのですが、自分の車には、車線を外れると自動的に戻る機能は付いていますが、自動運転機能は付いていないので、そういった機能が追加されていけば積極的に利用していきたいと思います。
司会	<p>ありがとうございます。</p> <p>その他どうでしょうか。皆さんのアンケートの中に、高齢ドライバーの事故が増えていて、自動ブレーキ搭載車などが増えてくれば良いのにといった意見を書いてくださった方もいますが、そのあたりを話してくださる方。</p> <p>Dさん、いかがでしょうか。</p>



交通安全・環境保全について思うこと。

信州大学D君	私自身は車には乗っていないのですが、最近、ニュースなどを見ると高齢ドライバーがアクセルとブレーキを踏み間違えて人を轢いてしまったとか、悲惨なニュースが目立つので高齢ドライバーは自動ブレーキ搭載車を義務付けるなどの対策が必要になってくるかなと感じています。
司会	危ない運転を見たり、体験したことはありますか。
信州大学D君	名古屋とかを走っていると若者でも割り込みとか、危険な運転が目立つので、自動ブレーキが搭載されて、そういうこともできなくなるようになれば、もっと安全にみんなが運転できると思います。
司会	<p>ありがとうございます。</p> <p>煽り運転も多くて嫌だという意見もありますが、そのあたりでお話しただけの方。</p> <p>Rさん、どうでしょう。Rさんは、車をもっと進化して行ってほしいとか便利になってほしいとか、それとも進化しすぎも嫌だなとか。</p>
清泉大学Rさん	<p>今、自分の車を持っていますが、サポート機能がそんなにない車なので詳しくないのですが、私は機能がもっと発展した方が良いというよりは、増えすぎても逆に事故に繋がりやすいのかなと思うので、煽り運転だとかマナーの面に関しては個人の意識だと思います。</p> <p>煽り運転で私が思うのは、夜、運転する際に、車のライトが煽ろうと思っていなくても車高の高さや、車の大きさの違いで煽っているように感じてしまったり、親が大きな車に乗っているのですが、前にいる車が小さかったりすると煽ってしまっているように感じるので、ライトとかそういうところも工夫した機能があれば良いなと思います。</p>
司会	<p>相手にそういう風に思わせない様な機能が付いている、思いやりのある運転ができるというような感じでしょうか。</p> <p>そんなに便利になってしまったら逆に危ないのではないかという意見をもっと話してくださる方いますか。</p>

	Pさんお願いします。
清泉大学Pさん	例えば、車線をはみ出したときに音が鳴って知らせてくれる機能があると思いますが、そういう車を運転していた時にすごく気が散ってしまって、確かに事故を未然に防ぐことも大事ですけど、気が散らないほうが良いなど、機能が便利になることで安全になるかもしれないけど、そのへんは逆に危ないかなと思っています。
司会	ありがとうございます。 他にどうでしょうか。それだと人間のやることなくなっちゃうよと感じている方。 では、Hさんお願いします。
県立大学H君	便利な機能が付くこと自体はとても素晴らしいことだと思いますし、僕も ChatGPT をよく使いますが、AI の計算機能は本当にすごくて、人間が追いつけるレベルではないところまで計算のスピードが速かったりするので、安全性とかそういう面に関しては、僕の意見ですけど、AI とか自動運転に任せた方が安全にはなるような気はするのですが、扱う人間側の気持ちも大切だと思っていて、便利なことが充実しているからこそ自分たちがどうやってその車を扱うのかとか、AI を扱うのか、ということをしっかりと考えていくことが重要だと思っています。 なので、使うユーザー側の教育の仕方、考え方みたいなところを変えていく必要があるのではないかと感じています。
司会	どのように教育していったら、伝えていったら良いと思いますか。
県立大学H君	今の自動車学校のシステムは、僕たちが運転することが前提で、自動運転機能とか付いていない車での教習が基本だと思いますが、そこで EV 車とか自動運転機能が付く車があったりすると、自分たちも使う側としての意識が生まれてくるので、慣れであったりとか考える機会が増えてくるのかなと思います。
司会	ありがとうございます。 もう一人、Oさんお願いします。
清泉大学Oさん	私も自動運転サポートとか、そういう技術が発展しすぎない方が良いと思っていて、例えば、前の車が発進したのを教えてくれる機能が付いているから、信号待ちの間は携帯を使用してしまうとか、そういうことに繋がりがねないなど。 先ほども意見が出ていたように、運転者のモラルとかそういう面での問題はとても大きいと思うので、改善されていくべき点ではあると思いますが、よく家族で話すのは、最近の車は外の暗さによって自動的にハイビームになる車が多いと思いますが、運転手の感覚ではまだハイビームはいらないと思うところでも付いてしまって、でもオート機能だから思うように解除もできないというのは、それこそ先ほどのお話のように煽り運転に感じられてしまうかもとか、自分も対向車のハイビームが眩しくて目を痛めた経験もあるので、便利な機能ばかりに頼らず、自分で必要な時に操作できる方が良いかなと思います。

<p>司会</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>このあたりで中山先生にお伺いしたいのですが、意見を聞いていても両極端になっていくと思うのですが、そのあたりのバランスというのは、学生さんたちはどのように考えているのでしょうか。また、どうなっていくと良いのでしょうか。</p>
<p>中山准教授</p>	<p>話を聞いていて、色々な問題があるなと思いました。</p> <p>簡単に2つに分けると、電車とかバスに乗っているような感じの車が良い人、これは「快適性」ですね。あともう一つは、自分で車を運転したいという人。</p> <p>音楽を聴きたい人や自動運転が良いという人は、バスや電車の中で音楽を聴いたり、ちゃんと安全に運行できるような乗り物に乗りたいという気持ちなのではないかと思います。</p> <p>で、もう一つは、自分自身で行きたいところに行くとか、こんなエンジン音が良いとか、車に乗ることに対して「楽しみ」を持っているというので、二極化しているのではないかなと思います。</p> <p>しっかり纏まりませんが、私の妻は運転免許を持っていないので、私の事を運転手だと思っています。私も運転が少しは好きなので、この前スポーティーなタイヤに履き替えたのですが、妻は乗り心地が悪くなったと言っていました。でも、私は運転しやすくなったのです。</p> <p>そういう風に意識が2つに分かれてしまうと、ある人には「良い車」、ある人にはこの車に乗っているのが「不快」となるような気がして、困ったなと思いながら聞いていましたけど、これが二極化なのかなと思いました。</p>
<p>司会</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>ここまでお話を伺っていない方が何人かいらっしゃいますが、避けては通れない「環境保全」について、カーボンニュートラルですとか、ハイブリッド、電気自動車、水素エンジン、そのあたりについてお話いただける方。</p>
<p>信州大学E君</p>	<p>僕自身、車はまだ持っていないので、車に関してはあまり詳しくないのですが、時代の流れとして環境保全というところで、ガソリン車から水素や電気自動車へ乗り換えて、環境に優しい車を作っていくという流れがあるのを聞いたりしますが、実際に電気自動車に置き換わるとなった時、どれくらいの電力を電気ステーションで賄うことができるのか、そういったところがまだ現実的でないのかなと感じています。</p>
<p>司会</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>でも、これからヨーロッパが電気自動車を義務化することになっていくと、日本ももっと早く欧米のようになっていく可能性も出てきますよね。</p> <p>電気自動車に置き換える社会を現実的にしていくには、どのようなところをカバーしていけば良いと思いますか。</p>

信州大学E君	<p>とても難しい問題だと思います。</p> <p>電気自動車に置き換える社会をつくるというのは、車業界だけの問題ではないと思うので、義務化となれば社会全体で色々な会社などが協力してやっていくことが必要だと思います。</p>
司会	<p>ありがとうございます。</p> <p>では、もうお一方。Iさんお願いします。</p>
県立大学I君	<p>私も環境保全に関しては、すごく関心がある話題ではありますが、電気自動車というものにまだマイナスなイメージがありまして、まずは利便性に関して給電スポットが少ないとか、値段も高いイメージがあるので若者は手が出しにくいなと感じますし、車らしさがないのかなというのも少し思っています。古い考えかもしれませんが、ガソリン車の「ブーン」という音、あの音がすごく好きで、車といえばこのイメージというのがあるので、電気自動車の「環境保全」という面も考慮しながら、ガソリン車の「面白さ」「ワクワク感」も残してほしいなと思っております。</p>
司会	<p>ありがとうございます。</p> <p>では、環境問題とか全部取っ払ったとして、こんな車があれば良いのにか、子供の頃にこんな車を考えていたとか、突拍子もないことでも良いので、こんな車があればというのはありますか。</p> <p>目が合ってしまった、Hさん。</p>



自分が思う夢の車。理想の車。

県立大学H君	<p>すごく現実性は低いのですが、僕は「トランスフォーマー」が好きで、未来を感じていて、車がロボットに変わるってすごくカッコいいなというのは小さい頃から思っていて、そこからヒントではないですが、車の形式が変化して部屋になるとか、僕の父親が車中泊とかが好きで結構やっていて、軽自動車だと少し寝づらいとかあるじゃないですか。</p> <p>でも、車の外観が変わらなくても中のシートや設備自体が自由にカスタマイズできるようになると、車を移動手段としても使えるし、家とまではいかないですけど、自分の空間としても利用できるという点で、僕的には生活の質というか、豊かさが付加価値として車に加わってくるのかなというのは考えました。</p>
司会	<p>ありがとうございます。できると良いですね。</p> <p>他に、Nさんどうでしょうか。</p>
清泉大学Nさん	<p>私、すごく心配性で、家の鍵を掛けたか心配になることがすごく多くて、車の鍵も心配になることがあるので、全く現実性がないのですが、車を小さく畳んで持ち運べたら一番安心だなと思いました。</p>
司会	<p>でも、いつの日かそんなことになるかもしれないですね。こういうところからどンドンアイデアが生まれて、昔は馬車とかはありま</p>

	<p>したけど、車が走るなんていうのは、平安時代の方には想像もつかな いようなことだと思いますから、何百年後とかに実現しているかもし れないですね。</p> <p>Sさんはいかがですか。</p>
清泉大学Sさん	<p>私が今乗っている車は軽自動車なのですが、どうしても4人以上 乗らないといけない場面が出てきた時に、座席数を自由に増やしたり 減らしたりすることができる車があれば、もっと便利になるかなと 思います。</p>
司会	<p>その時々に合わせて変わることができれば、色々な使い方ができそ うですよ。ありがとうございます。</p>



自動車業界に対して思うこと、ディーラーのイメージ。

司会	<p>話題を変えて、自動車ディーラーのイメージや魅力あるディーラー、 足を運びたくなるディーラーはこんな感じだよとか、逆にこんなこと があったから敬遠しちゃうなというお話があったら聞かせていただき たいのですが、Fさんはお父様がディーラーのお仕事をされているの ですよ。</p>
信州大学F君	<p>はい、父がトヨタのディーラーで勤務しておりまして、小さい頃は よく父の会社ぐるみの BBQ とかに誘っていただいて、社員さんに仲良 くしていただいた記憶があります。</p> <p>その中でディーラーのイメージとしては、お客様とその車をつなぐ 橋渡し、お客様に真摯に寄り添いながら、接客業としてもかなりプロ な方々の集団なのかなという印象を持っています。また、僕自身が こういうディーラーだったら行きたいなというお店は、小さいことな のですが、検査などの待ち時間にお菓子や飲み物を出していただいて、 それがすごく嬉しく感じて、また利用したいなという気持ちになりま した。</p> <p>よく纏まっていないかもしれませんが、大きな買い物をするに あたってそういう寄り添う気持ち、心遣いの積み重ねが次のお客様に 足を運んでいただくきっかけの1つになるのかなと思います。</p>
司会	<p>ありがとうございます。</p> <p>その他に、Tさんどうでしょうか。</p>
清泉大学Tさん	<p>すごく勝手なイメージですがノルマが大変そうで、実際にお店に 行った時に、普通に車を見ていたら、「これどうですか、良いですよ」 とグイグイ来られて、私はあまりグイグイ来られるのが苦手なタイプ なので、質問した時にだけ答えてくれるディーラーさんが良いなと 思います。</p>
司会	<p>ありがとうございます。</p> <p>Gさんはどうでしょうか。例えば、車の購入方法は実際にお店に 行ってなのか、それともネットやオンライン商談などで決めるのか。</p>

信州大学G君	<p>今、自分は車を所有していないので、あまり詳しくないのですが、もし自分が車を購入するとなった時は、まずはインターネットで色やデザイン、燃費とか値段ももちろんそうですが、基本の情報を一応頭に入れた状態で、最後は店舗に行って実車を見て、試乗までしてから購入したいので、オンラインで繋いでというのは、ネットでホームページを見ているのと違いがいまいち分からないなと感じます。</p> <p>例えば、自分の家の近くに欲しいと思っているメーカーの店舗がないとかでしたらオンラインも良いと思いますが、行ける範囲なのであれば実際に店舗に行って車を見たいというのが率直な意見です。</p>
司会	まず、自分で情報を収集してからお店に行く。
信州大学G君	<p>そうですね。何も知らないで行くと、あまり話についていけないのかなと思ってしまいます。</p> <p>でも、車のことをよく分かっているなくても、丁寧に教えてくれる営業マンの方がいたら嬉しいなと思います。</p>
司会	<p>そうですか、ありがとうございます。</p> <p>Jさんはどうですか。こんなふうに購入したいとか。</p>
県立大学J君	僕もまだ車は持っていませんが、予め欲しい車をカタログとかで見て、実際にそのディーラーへ行って試乗するとかは今も多く行われていると思いますが、予約する時などに、欲しい車の目星がついているのであればその車で家まで迎えに来ていただいて、実際にディーラーさんに行く時にその車に乗れば、なんとなくその車の感覚が分かるかなと思うので、もしそういうサービスがあったら良いなとは思いました。
司会	なるほど。買いたい車で迎えに来てもらおう。
県立大学J君	そうですね。ちょっと贅沢な感じになってしまいますが。
司会	でも良いですね。よく分かる感じですよ。ありがとうございます。では、Kさんはいかがでしょう。
県立大学K君	はい、今J君がおっしゃっていたようなサービスがあればすごく良いなと思いながら聞いていましたが、先日、車を1台購入して、店舗には行けなくてオンラインで繋いでいただいて、最終的に購入というような形式だったのですが、オンラインでも車の特徴や魅力をすごく丁寧に教えてくださったことが印象的でした。
司会	オンラインでこんなことがもっと見られると良いなとか、買うときにもうちょっとこういうのがあったら良かったなとか、ありましたか。
県立大学K君	<p>そうですね、結局、試乗せずに買うことになってしまったので、そこが心残りではあります。</p> <p>私は、地元が富山なのですが、購入するのは富山でも、車の試乗などは長野でも簡単にできれば、もしかしたら僕が知らないだけで、もっとやりようがあったのかもしれないですが、県を跨いでもそんなふうにできれば良いなと思いました。</p>
司会	試乗しないで買ったときの不安はなかったですか。

<p>県立大学K君</p>	<p>まだ納車が先なので、納車した時のお楽しみという感じではありませんが、だからこそすごく楽しみにしています。</p> <p>自分なりに色々なところから情報を集めて購入を決めたので、どんな感じなのかなど。</p>
<p>司会</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>では、次にIさんお話いただけますか。</p>
<p>県立大学L君</p>	<p>僕は、ディーラーに行ったことがなくて、イメージとしては正規店だからちょっと高いのかなという印象はあります。</p> <p>あと、接客された時にグイグイ来られたりとか、すごく愛想が良いと逆に怖いなという印象もあります。「めちゃくちゃ良いです！どうですか！」とか言われると「え、本当ですか？」みたいな感じになってしまうので、人間味があるほうが良いなと思います。</p> <p>価格で見えちゃったりとか、自動車に詳しい人だと自分で直したり、中古車の状態を見て買ってしまおうとかもあると思うので、対面で手厚くユーザーと営業の人が関わってほしいとなると、そこに共感してくれるポイントとか、恰好つけた言い方ですけど、営業の人がファンを獲得するみたいな状態のほうが良いと思いますし、自分が使う時も「あ、この人と趣味合うな」という人から買いたいです。それが付加価値になってくるみたいな感じです。</p>
<p>司会</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>今回の学生さんの中で、ディーラーに実際に勤めるという方と、ディーラーに興味・関心を持っているという方が2名いらっしゃいます。</p> <p>まず、ディーラーに内定が決まっているSさん。そのディーラーにした決め手やこんなふうに働いていきたい、というのがあればお聞かせいただけますか。</p>
<p>清泉大学Sさん</p>	<p>はい。私は、来年の4月から新潟県内のトヨタの販売店で営業をさせていただくことが決まっています。</p> <p>実際にその会社にした理由としては、人事の方とお話をする中で、その会社自体がすごくお客様から信用されているなど感じた点だったり、自分が車を使用する中で、小さな疑問とか不安だったりが出てきますが、そういった不安を気軽に相談できる方が多いなど感じたからです。自分自身もこれから就職して、お客様が不安に思っていることを気軽に相談いただいたり、そのお客様が満足していただいて、他の方にご紹介いただけるようなディーラーになりたいと思っています。</p>
<p>司会</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>それから、ディーラーに非常に興味を持っているというOさん。なぜ興味を持ったのでしょうか。</p>
<p>清泉大学Oさん</p>	<p>私自身、車が好きなものもありますし、将来どういうところで働きたいかなと思ったときに、事務とかではなくて直接人と関わっていくような営業のお仕事がしたいと思っているので、そう考えた時に、小さ</p>

	<p>い頃から両親と一緒にディーラーさんに行って営業の方と話す機会が すごく身近にあったので、興味を持っています。</p>
司会	<p>ありがとうございます。</p> <p>どうでしょう、ここまで車の話を色々伺ってまいりましたが、言い 残したことがあるとか、どんなことでも構いませんのでいかがでしょ うか。</p> <p>では、Kさんお願いします。</p>
県立大学K君	<p>若者の車離れという話がよく言われていて、我々は若者と言われる 側ですが、現場ではどういう認識なのかなというのがずっと気になっ ていました。自分で考えたりもしましたが、ぜひ伺いできたらと思 います。</p>
宇都宮理事長	<p>ご両親年代の、車がステータスで持つことが楽しかった時代からす ると、今の皆さんの車の使い方というのが、移動のためであるという ことが大事になってきて、その時々にあったレンタカーやカーシェア リングが身近に存在しています。今は、昔のように、男性は車を持っ ていないと女性にモテないという時代ではなくなったと思いますし、 女性も車がないから付き合わないということはないと思います。そう いう意味で、車に対する興味の方向性が変わってきた、所有と使用と が区分されだしたというのが私の認識です。</p>
県立大学K君	<p>そうですね。色んな多様化といったところは自分にもあるかなと 思っていますが、もう一つの考えが、経済的な事情もあるのかなと 考えました。僕も車が好きで、免許を取った時に乗りたい車もありま したが、やはり大きな買い物ということもあって、一人暮らしをしな がら学費を払ってということを考えてどうしても後回しになってしま い、買いたくても買えないというのが、幾分かあるのかなと感じて いる部分はあります。</p>
宇都宮理事長	<p>そういう方のために、トヨタでは「キント」というサブスクの買い 方がございます。各社そのような買い方がございますので、その時は サブスクを使って車の保有をしていただきたいと思います。</p>
司会	<p>今は色々な車の乗り方、購入の仕方、所有の仕方がありますが、 使ってみようかなと思ったりしますか。</p> <p>それでもやはり自分の車が欲しいですか。</p>
県立大学K君	<p>やはり自分で所有したいと思いました。でも、サブスクも面白いな と思います。短期間で色々な車に乗れるというのは、所有とは別の 楽しみ方があると思うので、すごく良いなと思います。</p>
司会	<p>ありがとうございます。皆さんの中でもサブスクとか使ってみたい なという方いますか。</p> <p>Jさんお願いします。</p>
県立大学J君	<p>僕自身はよくレンタカーやカーシェアを使っていて、一度、車の 購入を考えたのですが、金銭的に難しかったり、大学卒業後は上京 する予定なので、大学4年間はサブスクを利用すれば比較的安く車を</p>

	所有できて良いなと思いました。
司会	<p>実はいまサブスク使ってますという方いますか。または、友達や知り合いが使っていて、こんな話を聞いたとか。</p> <p>Cさんお願いします。</p>
信州大学C君	<p>自分はサブスクというよりは、リースで使わせていただいているのですが、やはり学生の身で大きなお金を動かすというのは難しく、少しずつ払いながら何年か経った時に購入するかどうか決めました。</p> <p>アルバイトもしておりますが、そんなに稼ぐことができないので、親に少しお金を出していただきましたが、サブスクという形であれば、よりお願いしやすいといえますか、選択肢が増えると学生でも車にもっと親しみやすくなるのかなと思いました。</p>
司会	<p>ありがとうございます。</p> <p>そろそろお時間も近づいてまいりましたが、自動車販売店協会の皆さんから学生の皆さんへ聞いてみたいことがあるという方がいらっしゃいましたらお願いいたします。</p>
関本理事	<p>ご苦労様です。皆さんから色々な意見を聞かせてもらいました。まず一つお聞きしたい。我々、車業界のディーラーの第一印象に1年中休みがないような企業イメージを持っているか、また、絶対就職したくないとか、むしろ就職してみたいとか、そのあたりを聞かせていただきたい。</p> <p>我々も人材不足で皆さんのような方が欲しいわけです。そうした時に皆さんが企業を選ぶ際、どういう目線で自動車業界を見ているのかというところをもう少しお聞きしたいと思いますので、お願いします。</p>
司会	<p>どうでしょうか。どなたかお話いただける方。</p> <p>Fさんお願いします。</p>
信州大学F君	<p>僕自身は父がディーラーで働いておりますので、一言で言うと、やはり忙しいのかなと思います。僕の父も週休1日ぐらいで働いてまして、小さい頃はあまり父と夕飯を食べた記憶がありません。なので、忙しい職業なのかなと考えています。</p> <p>ただ、僕ら学生の感覚としましては、時代の変化に伴って、就活の軸といえますか、福利厚生や働きやすさ、自分のプライベートと仕事の両立がしやすいかというのを重要視する流れがあります。その中で、ディーラーさんが人材確保するとなった時に、福利厚生が充実しているか、休みが取りやすいかというような部分が改善、あるいは元々あるとすればそこを強く押し出していただけると、今の学生は興味を持ちやすいといえますか、目に届きやすいかなと思います。</p>
関本理事	<p>ありがとうございます。貴重な意見をいただきました。</p> <p>この業界は、企業としてのブラックイメージが長年にわたってあったかと思います。ですが、今現在は、お盆休みや正月休み等、長期の休みもしっかり取りながら今までのイメージの払拭を図ろうとしております。また、福利厚生面については、長野県では宇都宮理事長を</p>

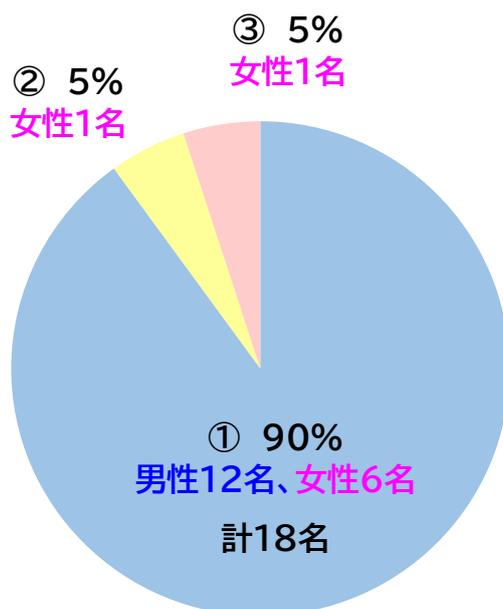
	<p>中心にしながら体質改善をしてきているところですので、もっと目を向けていただけたら嬉しいなと思います。</p>
司会	<p>他にはよろしいでしょうか。 富田理事お願いします。</p>
富田理事	<p>関連するような話で申し訳ないのですが、最近、「エンゲージメント」という言葉が色んな経営サイトで使われていますが、最近の若者は人間関係が良くてもダメなんだと、それ以上に何か求めるものがあるのではないか、会社に対する貢献度を高めていくにはどんな会社だったら継続的に働きたいか、これを教えていただきたいと思います。</p>
司会	<p>どなたかお話いただけますでしょうか。 Qさんお願いします。</p>
清泉大学Qさん	<p>私は春から就職の予定なのですが、就職活動中に重要視していたのは、これは女性ならではの意見だと思いますが、育児休暇が取れるというのはすごく重要だと思って、一番そこを重要視していました。あと、授業で、社会人 3 年目の先輩からお話を伺う機会があって、その先輩がおっしゃっていたのは、入社前と入社後のギャップがありすぎるとそこに疲れてしまって、転職しようとする人もいるみたいで、その差があまりなければ他の会社に転職しようとは考えないのではないかなと思います。</p>
司会	<p>ありがとうございます。 最後にもうお一方、Jさんお願いします。</p>
県立大学J君	<p>僕も来年から就職が決まっていますが、先輩とかの話をよく聞いていて、最近は福利厚生がしっかりしていないと周りから冷たい目で見られるということで、その先輩はしっかり福利厚生の良い会社に入社したのですが、入社したは良いものの本当にやることがない、Word や Excel で簡単な作業をするだけで仕事としてのやりがいがないというのを聞いて、しっかり休みもあるし、お金もたくさん貰えて良いかもしれませんが、僕としては福利厚生なども大事だと思いますが、しっかりとしたやりがいも必要だなと感じています。</p> <p>ただ、そのためにはアピールの場というか、頑張りが認められるような場だったり、責任のあるポジションにつけるようなキャリアみたいなのが入社後には大切なのかなと思います。</p>
司会	<p>ありがとうございます。 もっと皆さんにお話しを伺いたいところではありますが、お時間が来てしまいました。 今日は皆さんの貴重な意見を聞くことができました。本当にありがとうございました。 以上を持ちまして、ユーザーの意見を聴く懇談会を終了させていただきます。</p>

VI ユーザーアンケート

このアンケートは、懇談会前にユーザー（学生）20名の皆様に“事前アンケート”としてご回答いただいたものです。参考にしてください。

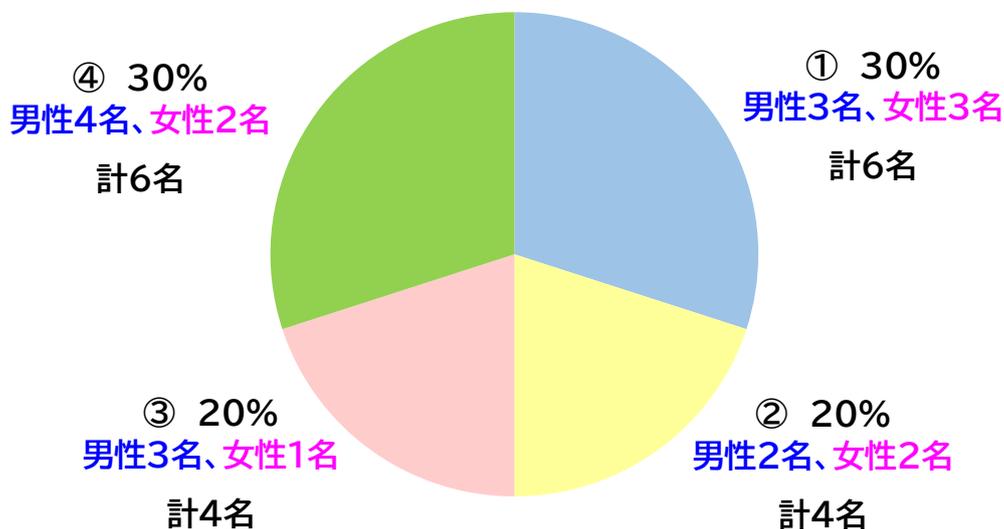
(1) あなたは車が好きですか。

- ① 好き・どちらかといえば好き
- ② 嫌い・どちらかといえば嫌い
- ③ その他



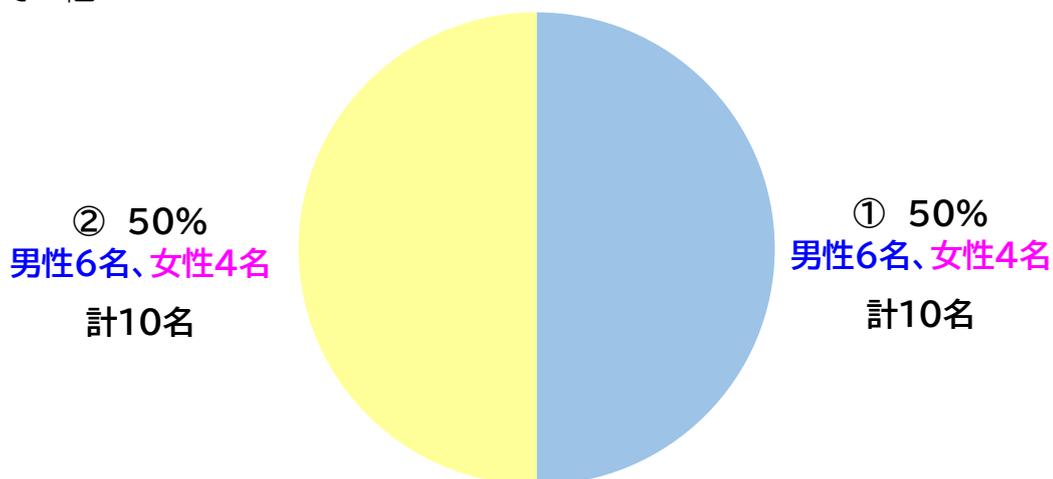
(2) あなたは車を運転しますか。

- ① ほぼ毎日運転する
- ② 週に2、3日運転する
- ③ 月に1～4日運転する
- ④ ほとんど運転しない



(3) あなたは車を所有していますか。

- ① 名義を問わず車を所有している
- ② 車は所有していない
- ③ その他



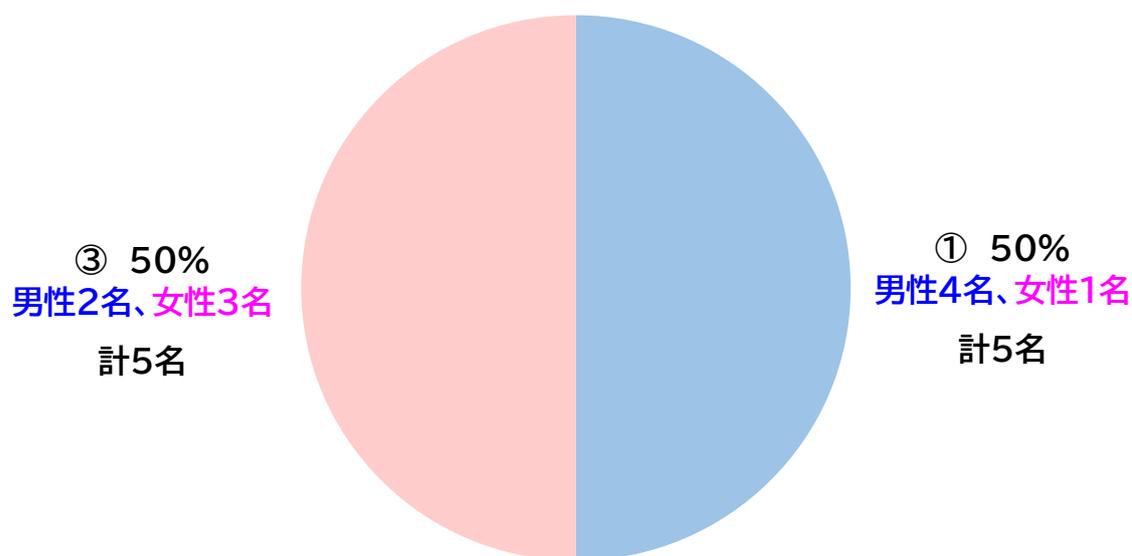
(4) 車を所有していると回答した方にお聞きします。
所有している車について教えてください。

- ① 今の車に満足している
- ② 今の車に不満である
- ③ その他



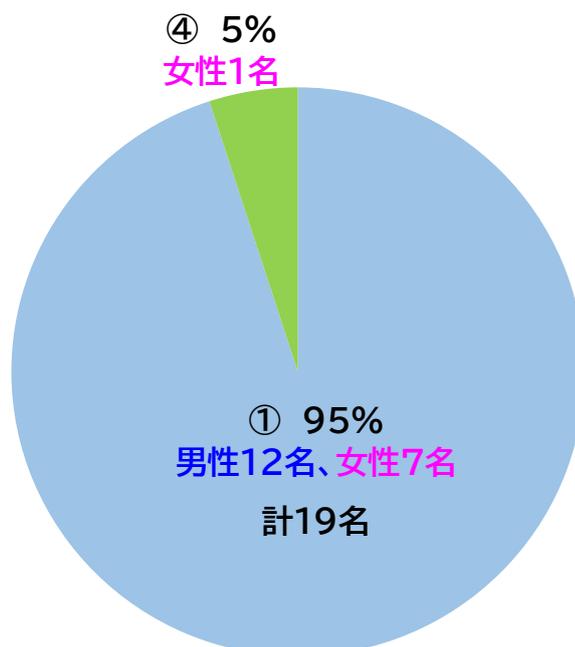
(5) 車を所有していないと回答した方にお聞きします。
その理由について教えてください。

- ① 経済的理由
- ② 欲しい車がない
- ③ 車を持つ必要がない



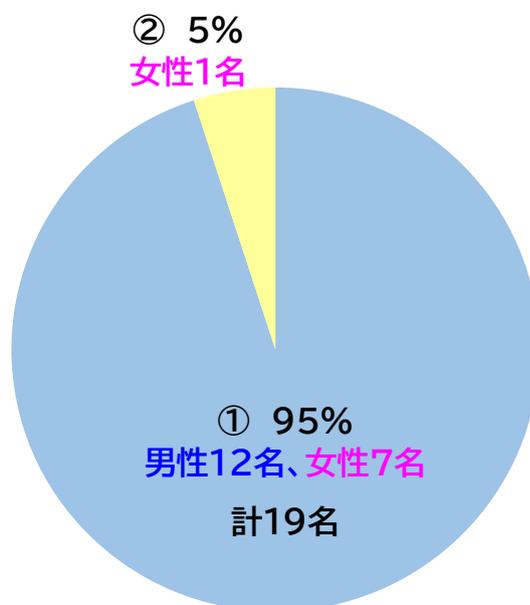
(6) 将来的には自分で自由に使える車を持ちたいと思いますか。

- ① 持ちたい
- ② 持ちたくない
- ③ その他
- ④ 未回答



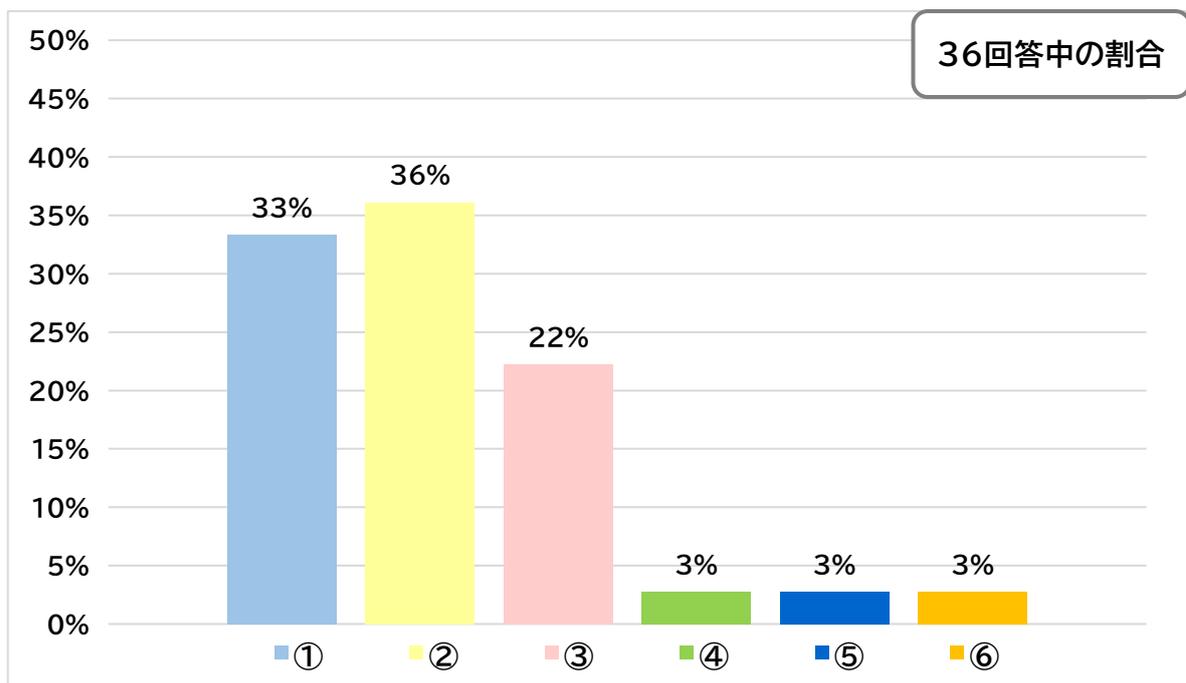
(7) 車を持つ場合、どのような所有形態を考えていますか。

- ① 新車・中古車を購入(所有)する(※残価設定以外のローンを含む)
- ② 残価設定ローン
- ③ リース、サブスクリプション
- ④ カーシェアリング
- ⑤ その他



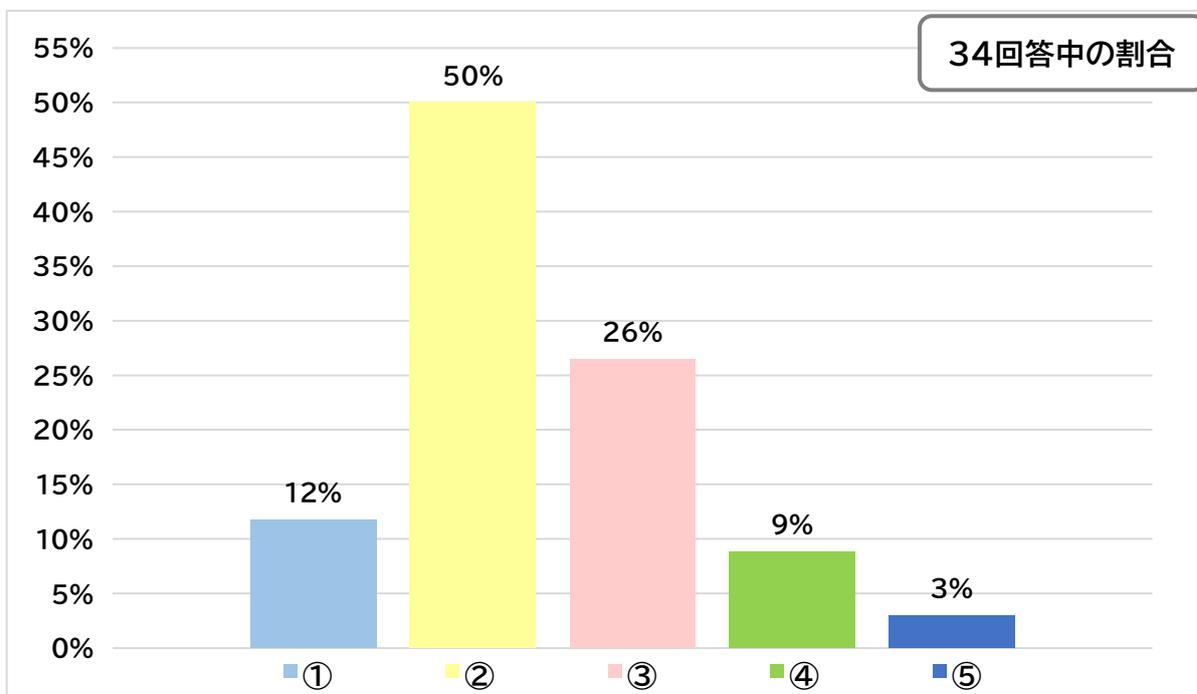
(8) 車を持つとすれば、どのような点に関心を持って選びますか。(2つまで選択可)

- ① 費用(購入費用・燃費・維持費等)
- ② 車のデザイン・好み・銘柄
- ③ 安全性能・自動運転レベル
- ④ 環境性能(環境への影響)
- ⑤ 保証・アフターサービス
- ⑥ その他



(9) 以前に比べ若者の車への関心が薄れている（若者の車離れ）と言われていますが、その要因は何だと思えますか。（2つまで選択可）

- ① 車にステータスを感じない
- ② 価格、維持費が高い
- ③ 公共交通機関の発達で車の必要性を感じない
- ④ 車以外に趣味が多様化している
- ⑤ その他



Ⅶ 付則資料

出席者の詳細は以下のとおりです。

(1) ユーザー 20名

信州大学工学部、大学院7名、長野県立大学5名、清泉女学院大学8名

(2) オブザーバー 1名

信州大学工学部 中山 昇 准教授

(3) 協会役員 12名

理事長	宇都宮 進一	長野トヨタ自動車(株)	代表取締役会長兼社長
副理事長	塚田 哲郎	長野ヤナセ(株)	代表取締役社長
専務理事	遠藤 丈夫	(一社)長野県自動車販売店協会	専務理事
理事	関本 一男	長野三菱自動車販売(株)	代表取締役社長
理事	東澤 勝俊	(株)ホンダカーズ長野中央	代表取締役社長
理事	富田 信	長野日産自動車(株)	代表取締役社長
理事	竹下 英輔	(株)スズキ自販長野	代表取締役社長
理事	水野 右	長野日野自動車(株)	代表取締役社長
理事	中畑 透	宇都宮商会(株)	代表取締役社長
理事	的場 智英	(株)甲信マツダ	代表取締役社長
監事	降旗 憲治	日産プリンス松本販売(株)	代表取締役社長
監事	小澤 隆	小澤隆税理士事務所	税理士

(4) 会員 1名

小池 康弘	南信三菱自動車販売(株)	代表取締役社長
-------	--------------	---------

(5) 司会進行 1名

SBC信越放送(株) 中澤佳子アナウンサー

(6) 記者 1名

(株)日刊自動車新聞社 秋山 淳 様

(7) 協会事務局 6名

合計42名